

九州ろうきん



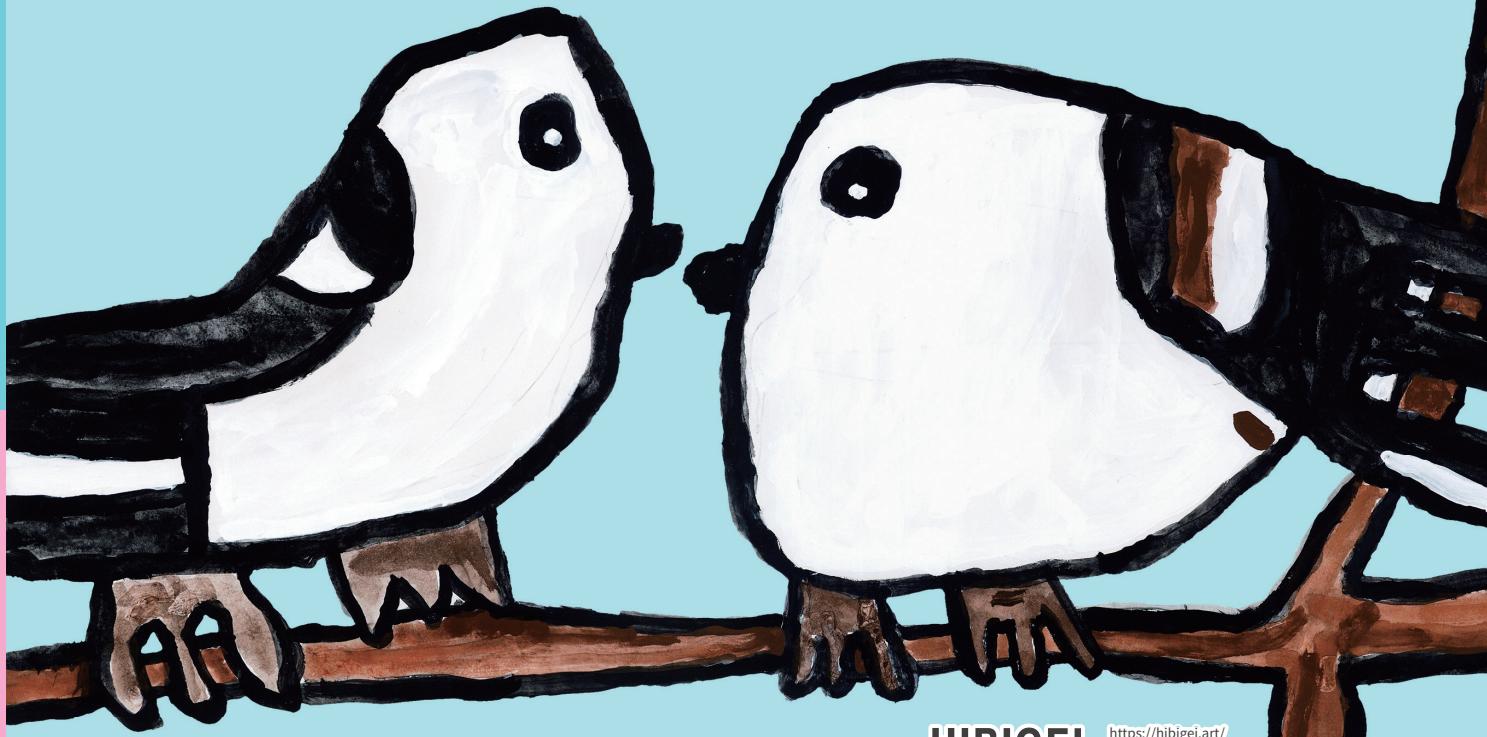
NPOサポートーズ

# NPO

## 自動寄付システム

### NPOサポートーズのご案内

「NPO自動寄付システム」は福祉・環境・文化などさまざまな分野でボランティア活動を展開しているNPOと市民・勤労者とをつなぐ新しい社会貢献のカタチです。本誌に紹介する「紹介NPO」の中から、あなたが応援したいNPOをお選びください。お選びいただいたNPOへ毎月100円からの口座振替により寄付を行います。気軽に始められる寄付を通した新しいボランティア活動に、ぜひ、ご参加ください。



## 宮崎県の紹介NPO

認定特定非営利活動法人 ホームホスピス宮崎		メッセージ
〒880-0913 宮崎県宮崎市恒久2丁目19-6		ホームホスピス宮崎は、皆さまのご支援をホームホスピスや暮らしの保健室の運営・ボランティア活動に利用させていただき、事業の充実を図っております。
設立時期:2000年4月 代表者:市原 美穂 事務局責任者:— 電話:0985-53-6056 FAX:0985-53-6054		平成27年3月1日付〈宮崎シレイ20190-1599〉認定NPO法人に認定されました。
会員数:50名 年間予算:387万円 ボランティア:有 ニュースレター:年2回発行		年間3,000円以上の寄付をしていただいた方は、優遇税制の適応を受けることができます。
ホームページ <a href="https://npo-hhm.jp">https://npo-hhm.jp</a> メールアドレス office@npo-hhm.jp		みなさまからのご支援、よろしくお願ひ致します。
事業内容	●ホームホスピス「かあさんの家」2軒●ボランティア活動(聞き書きボランティア、患者らいぶらり)●訪問介護ステーションぱりおん、みつばち診療所●HALEたちばな(訪問看護ステーションぱりおん、日中一時支援ohana、短期入所leilei、相談支援事業所luana)●暮らしの保健室…在宅療養等の相談、ゆるりサロン、お薬相談、ミニ講座●宮崎県がんサロン等運営支援事業…ふらっとカフエ(宮崎県立病院にて)●学びの場…研修会・講演会の実施、研修・実習の受け入れ	

特定非営利活動法人「アジア砒素ネットワーク(AAN)」		メッセージ
〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目9番6号みやざきNPOハウス208号室		1)バングラデシュではここ数年、米粒中の砒素含有量が許容基準を超えており、20数年前にはなかったことです。その間に灌漑用水(地下水)中の砒素が水田土壤中に堆積したことが原因です。AANは2022年から研究機関の協力を得て米粒中の砒素含有量を低下させる米づくりを実践中です。この稻作を全国的に広げていく運動をこれから先に展開していきます。 <a href="https://www.asia-arsenic.jp/information/202505183350/">https://www.asia-arsenic.jp/information/202505183350/</a>
設立時期:1994年4月 代表者:横田 漢 事務局責任者:横田 漢 電話:0985-20-2201 FAX:0985-20-2286		2)バングラデシュでは高血圧、糖尿病、慢性呼吸器疾患等の生活習慣病(成人病)をもつ女性が多くいます。これらの症状は慢性砒素中毒症と同じです。これは若年妊娠(児童婚)、栄養不良、運動不足、および砒素摂取(飲料水、米)など複合的な要因で起こっています。AANは女性のライフステージに応じた健康管理の取り組みを行っています。
会員数:147名 年間予算:9,486万円 ボランティア:有 ニュースレター:年3回発行		3)土呂久集落は過疎化が進んでいます。AANは環境教育を通じて持続可能な地域づくりを目指しています。みなさま、ご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。
事業内容	私たちAANは、宮崎県高千穂町の旧土呂久鉱山周辺に多発した慢性砒素中毒症の患者を支援したメンバーがその経験をアジアの砒素汚染克服に活かすために設立したNPO法人です。私達は、「安全な水を飲みたい、健康な暮らしを送りたい」というアジアの人々の願いをかなえることを目標にし、バングラデシュを中心に活動しています。また、これらの活動の原点となっている土呂久鉱害は現在、風化しつつあります。集落の生活と自然環境を破壊した過去を次世代に継承するため、土呂久に根差した環境教育も実践しています。	

NPO法人 宮崎もやいの会		メッセージ
〒880-0813 宮崎県宮崎市丸島町4-3 第6シャトーモリオカ203		精神障がい者の自立と社会参加を支援するとともに、障がいを持つ人々に対する地域社会の理解と協力を得ること、また、障がい者と健常者が共に支え合って働き生きていく社会を目指すことを目的に設立された団体です。
設立時期:2006年4月 代表者:小林 順一 事務局責任者:小林 順一 電話:0985-71-0036 FAX:0985-71-0036		同じ仲間同士で理解と共感を踏まえてピアサポートし、当事者に一番適した支援を可能にします。また、ピアサポートを推進するためのセンター養成に重点を置いた活動を続けていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。
会員数:10名 年間予算:650万円 ボランティア:有 ニュースレター:年4回発行		
ホームページ <a href="https://www.m-moyai.com">https://www.m-moyai.com</a> メールアドレス m-moyai@kag.bbiq.jp		
事業内容	NPO法人宮崎もやいの会として、宮崎市より地域活動支援センターを委託されて、週6日開所しています。日中の活動によってステップアップ、スキルアップを目指して次のステージにつながる支援を実施しています。	

## 特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目9番6号みやざきNPOハウス101

設立時期:2000年10月

代表者:石田 達也

会員数:10名

事務局責任者:名田 敬仁

年間予算:29,870万円

電話:0985-60-3911

ボランティア:有

FAX:0985-89-4979

ニュースレター:年6回発行

ホームページ <https://bunkahonpo.or.jp/>

メールアドレス bunka\_info@bunkahonpo.or.jp

### 事業内容

- ①文化事業として宮崎キネマ館の運営
- ②みやざきNPO協働支援センター、宮崎県災害中間支援組織、宮崎県環境情報センターの運営
- ③指定管理者として、みやざきアートセンター、宮崎市民活動センター、宮崎市自然休養村センターの運営
- ④事務局代行業務として、宮崎市バージニアビーチ市姉妹都市協会、宮崎映画祭等多数
- ⑤みやざきに市民ファンドを!設立準備委員会事務局の運営
- ⑥山のダイゴミ・プロジェクト協議会事務局運営
- ⑦宮崎県地域づくりネットワーク協議会事務局

### メッセージ

地域に根ざした活動を、20年以上にわたって続けてきました。設立以来、宮崎が“面白く元気になる”ことを願い、芸術文化を中心に、活動を行っています。

宮崎キネマ館の運営をはじめ、公共施設の管理運営、市民協働による災害支援の仕組みづくりなどに加え、現在では、地域の課題を“市民の力”で支える「みやざきに市民ファンドを!」の設立にも力を入れています。

誰もが支え手にも受け手にもなれる仕組みを目指し、地域の共感をつなぐ寄付文化の醸成と、共助による持続可能な地域づくりに挑戦しています。皆さまからのご寄付は、こうした草の根の活動の力となり、これから宮崎を支える大切な一步となります。温かなご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 特定非営利活動法人 宮崎21高齢者福祉研究会

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目9番6号みやざきNPOハウス204

設立時期:1991年3月

代表者:澤田 孝子

会員数:30名

事務局責任者:戸高 光美

年間予算:220万円

電話:0985-25-0817

ボランティア:有

FAX:0985-25-0818

ニュースレター:—

ホームページ <https://miyazaki21.org> メールアドレス —

### 事業内容

高齢者・障がい者・若者・地域住民に対して、豊かで安心できる社会を実現していくうえで、福祉のまちづくりに関する活動、地域福祉の増進に寄与することを目的としています。 ●委託事業「木城町介護予防事業」 ●地域福祉活動「レクリエーション活動・いきいきライフ派遣活動」 ●「スマホ入門講座」 ●若者の引きこもりへの支援活動・講話活動

### メッセージ

「健康と生きがいづくり」をテーマとして、介護予防、認知症予防等のリーダー(サポートー養成)講座を積極的に開催してきました。地域福祉活動がますます重要になる中、高齢者はもとより子供たちに対しても支援活動に努めてまいります。

## NPO法人 のべおか天下一市民交流機構

〒882-0813 宮崎県延岡市東本小路131番地5

設立時期:2001年4月

代表者:松下 宏

会員数:60名

事務局責任者:大崎 光芳

年間予算:1,800万円

電話:0982-33-0248

ボランティア:有

FAX:0982-32-6151

ニュースレター:月1回発行

ホームページ <http://www.nobeoka-tengaichi.jp>

メールアドレス tengaiichi@dolphin.ocn.ne.jp

### 事業内容

●「のべおか天下一薪能」の開催(第1回1997年・毎年10月)旧延岡藩内藤家旧蔵で、天下一の称号を持つ能面作家作の能面を使用して、地元延岡の名所である城山公園に、市民ボランティアの手で能舞台を組み、薪能を行う。●こども能プログラム(年間)地元延岡の子供たちを対象にした、謡の稽古や、京都での稽古等のプログラム。又、のべおか天下一薪能の子方としても出演がある。●内藤家伝来の能面展・西日本能面作家展の開催支援(毎年9~10月)●誰にでもわかる「能楽鑑賞講座」の実施(年2、3回)

### メッセージ

「のべおか天下一薪能」の開催及び、能楽に関する事業を通じて、市民協働によるまちづくりを強く意識して活動しています。

市民でできる事は自ら実践する事を心がけ、そこに住む市民の為の地域のあり方を模索しています。これからも、自らの団体の事業・活動に限らず、地域づくりとなる活動には積極的に参画・関与しながら、故郷・延岡に対する愛着と誇りをもてる様な地域社会の構築に貢献したいと思っています。

## 特定非営利活動法人 宮崎県ボランティア協会

〒880-0007 宮崎県

設立時期:1981年4月

代表者:辻 利則

会員数:64名

事務局責任者:永山 由美好

年間予算:50万円

電話:0985-29-2949

ボランティア:有

FAX:0985-29-2949

ニュースレター:6ヶ月1回発行

ホームページ <http://mkv.e-region.info>

メールアドレス miyakenvora@kind.ocn.ne.jp

### 事業内容

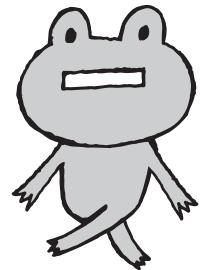
1. NPOボランティアの広報・啓発事業
  - ①ボランティア情報紙『ふれあい』の発行
  - ②ホームページによる広報・啓発
- 2.「ふれあい」協働事業
  - ①「ふれあいの旅」の実施
  - ②ふれあいアート交流事業
  - ③災害への支援活動「私たちにできるふれあい支援活動」
3. NPO・企業・行政・大学等との協働事業
  - ①NPO法人みやざき教育支援協議会との協働事業
  - ②宮崎公立大学との協働事業
  - ③障害者差別解消法への取り組み
- 4.リサイクル活動の推進事業  
使用済み切手整理「サロン」(毎月第3金曜日)の実施
- 5.その他
  - ①生活に根ざしたボランティア活動
  - ②「色かるたセミナー」への取り組み(認知症ケア、アイスブレイク等)

### メッセージ

令和5年度に4年ぶりの「ふれあいの旅」(青島・日南日帰りツアー)を開催しました。モアイ像を見ながら海を眺め、ホテルでの豪華昼食に舌鼓を打ち、新しい青島、青島神社や植物園を楽しみました。

令和6年度は住吉神社で毎月開催されている「神様のごちそうマルシェ」で神様のごちそうを購入し、社務所をお借りして昼食・交流会を開催しました。障害を持つ方、持たない方同士の「ふれあい」を自然と感じるいいツアーとなり、ふれあうことの大切さを再確認できる日帰り旅でした。

また、毎年西池小学校で実施している子ども達と障がいを持つ人がアートを通してふれあう「ふれあいアート」は「障害者差別解消法」の一つの取り組みにもなってきています。



## 特定非営利活動法人 どんぐり1000年の森をつくる会

〒889-1801 宮崎県都城市山之口町富吉2985番地26

設立時期:2008年4月

代表者:中原 香津子

会員数:101名

事務局責任者:徳永 貢

年間予算:448万円

電話:0986-57-5228

ボランティア:有

FAX:0986-57-5228

ニュースレター:年1回発行

ホームページ <http://www.donguri1000nen.jp>

メールアドレス info@donguri1000nen.jp

### 事業内容

どんぐり1000年の森をつくる会は、宮崎県を縦断して流れる1級河川大淀川の水質浄化と豊かな風土をつくるために、この地域の自然植生である「どんぐり(広葉樹の総称)」を拾い、それを育てて山に植える活動を平成8年よりこれまで続けている団体です。山に植える木には、1株500円で協力していただく「どんぐり株主制度」があり、株主の協力で、毎年約4,000本の植樹活動を行っております。また、平成22年度から市街地に近い場所に「どんぐり村～こども自然塾」(3ha)を整備して、子どもたちが身近に森遊びができる空間として、森の図書館や木の遊具、ツリーハウス等を整備し、一般に無料で開放しています。

### メッセージ

当会は、未来に生きる子どもたちに住みよい環境を引き継ぐために、植樹を中心とした環境保全活動をおこなっています。

この活動は、1000年という長い年月での風土づくりを目指しており、ずっと後世に引き継いでいくことを目標にしています。

「どんぐり株主」への還元は、木を植えることで発生する、きれいな空気と水、そして、未来に生きる子どもたちの笑顔です。身近に気軽に始められる環境保全に、是非、ご協力いただき一緒に活動していきましょう。

<b>NPO法人 アースウォーカーズ</b> 〒889-1602 宮崎県宮崎市清武町今泉丙2178		<b>メッセージ</b> <p>あたかいいご支援本当にありがとうございます。2011年に福島の子どもたちの支援をスタートし、九州労金さんを通じて多くのご支援をいただきました。みなさんのご支援で多くの子どもたちの笑顔が広がる活動ができました。福島の支援を継続したり、各地で起きる被災地の支援に駆けつけたりする上で、みなさんの支援が大きな力となります。災害から月日が流れるとともに、寄付や支援が少しずつ減少する中、ひきつづき1人でも多くの方々のご支援をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
設立時期:2006年5月 代表者:小玉 直也 事務局責任者:佐々木 泉 電話:0985-85-6555 FAX:0985-85-5545       会員数:約350名 年間予算:1,310万円 ボランティア:有 ニュースレター:年1回発行		

<b>特定非営利活動法人 学校支援のべおかはげまし隊</b> 〒882-0813 宮崎県延岡市東本小路131-5		<b>メッセージ</b> <p>皆さんには、いつも温かなご支援を頂き、誠にありがとうございます。たくさんの企業や個人様からお寄せいただいたお金は、主に隊員さんの交通費、教科書、ドリルなど必要経費として遣わせていただいております。最近は、隊員さんの高齢化と新規隊員数の伸び悩みが大きな課題となっております。はげまし隊は、子ども達にナナメの関係(親や教師のようにタテではなく、友達のようにヨコでもない)をもたらす貴重な存在です。隊員さんに見守られることで安心感を得ている子ども達も少なくありません。この活動にご興味のある方がおられましたら、ぜひ、一緒に活動していただけると幸いです。子どもを取り巻くわたくし達大人一人ひとりが、それぞれのできる範囲で子ども達を支援・応援していく社会を作りましょう。</p>
設立時期:2012年8月 代表者:渡井 俊行 事務局責任者:石川 喜美子 電話:0982-29-3786 FAX:0982-29-3739       会員数:団体23名 個人15名 年間予算:1,000万円 ボランティア:有 ニュースレター:年3回発行		

## 特定非営利活動法人 子どもの森

〒889-0604 宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場3412番地1

設立時期:2003年7月 会員数:13名  
代表者:横山 謙一 年間予算:155万円  
事務局責任者:横山 純子 ボランティア:有  
電話:0982-63-0009 ニュースレター:年1回発行  
FAX: -

ホームページ <https://www.kodomonomori.info>  
メールアドレス info20@kodomonomori.info

### 事業内容

子どもたちに良質の森(環境)を残すために、自然環境が悪化している現在において、自分たちでできる環境を保全することの大切さを理解し、興味を持つてもらうために環境啓発の活動を実践しています。自然環境の源である森をつくり守るために広葉樹を植樹して下草刈り等の育林作業や、将来環境の守り手となる次の世代に対して森林や河川等を活用しての体験型環境学習を開催して、環境問題に取組む活動を行っています。

(1) 休耕田の復元による米作りや麦栽培からパン作りまでの事業  
(2) 混交林の森づくり、高校生と取り組む森づくり、荒廃した竹林の雑木林への転換事業  
(3) 自然を活用しての体験型環境学習(春は「野草観察と調理」夏は「河川でのネイチャーゲームや河川清掃」秋は「昆虫観察」冬は「ドングリ苗ポット作成」)の事業  
(4) 市民活動の活性化に関わる古民家再生事業  
(5) 活動のホームページやSNS、広報誌発行での情報発信・啓発のための事業  
(6) その他目的を達成するために必要な事業

### メッセージ

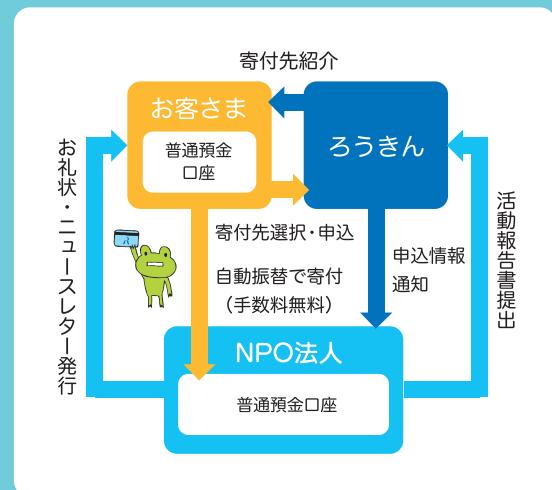
ずっとずっと昔からのご先祖様たちのおかげで、現在私たちは本当に便利な物に囲まれ、豊かな暮らしに恵まれています。毎日のように新しい便利な物が開発され、感心するばかりです。

ただ、その裏側には、便利な人間社会の犠牲となつた自然が存在しています。地球温暖化、街に下りてくる動物たち、動植物の絶滅、地球温暖化、酸性雨、食糧・水不足……。最近の自然環境の異変は、もう誰でも身近に感じることができます。

私たちの子孫が、これからもずっと永遠にこの地球で幸せに暮らしていくためには、自然破壊をくい止め、自然環境を回復させてゆかなければなりません。そのため私たちができること……それは無駄をなくすこと、そして壊された緑をもとに戻していくことだと思います。緑が増える、それだけでいろんな面での好循環が期待できるのではないかでしょうか。緑を増やすシステムやビジネスがありますが、金銭的な余裕もボランティア団体の活動として、森林ボランティアや、環境学習の開催はとても重要だと思います。

## NPOサポートーズ

お客さまが応援するNPO法人へ、お客さまの普通預金口座から指定日(20日もしくは25日)に自動振替で寄付する制度です。1回の寄付額は100円以上(100円単位)で、寄付先は市民への情報公開性や事業の社会性、会計の安定性等を基準にろうきんが選定した「紹介NPO」の中からご選択いただきます。



九州各県の「紹介NPO」およびろうきんの社会貢献活動については、ホームページをご参照ください。

つかえるろうきん みんなのろうきん

**九州ろうきん**

<https://kyusyu-rokin.com/>

九州ろうきん

検索



九州労働金庫 事業部 福祉金融推進課

〒810-8509 福岡県福岡市中央区大手門3-3-3  
☎092-714-7017